

レンサ球菌感染症の病態解明と新規診断・治療法の開発に資する研究

1. 研究の対象

1980年代～現在までに、東京女子医科大学病院・国立成育医療研究センター・地方独立行政法人りんくう総合医療センター・昭和大学 医学部・大阪大学医学部附属病院・国立国際医療研究センター病院にてレンサ球菌感染症と診断された方。

2. 研究目的・方法

ヒト常在菌を構成するレンサ球菌群は宿主に疾患を引き起こすことがあります。例えば、化膿レンサ球菌 (*Streptococcus pyogenes*) は、咽頭炎や敗血症、壊死性筋膜炎など様々な炎症性の病態を引き起こします。そのほかにも *Streptococcus pneumoniae*、*Streptococcus anginosus*、*Streptococcus constellatus*、*Streptococcus intermedius*、*Streptococcus mitis*、*Streptococcus suis* などのレンサ球菌も病原性を示すことが知られています。

本研究では、これらの菌が有する病原因子の探索、または菌が宿主にどのような病態を引き起こすかを解析します。これにより、疾病の発病メカニズムを明らかにするだけでなく、新規抗菌薬や新規ワクチンの開発に繋げることを目的としています。

研究期間は西暦 2024 年 10 月 1 日～2029 年 7 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：疾患から分離された菌株・感染組織・血液・尿。

情報：疾患名、基礎疾患、菌株が分離された年、検体採取部位、性別、年齢等

4. 外部への試料・情報の提供

臨床検体に付与される情報については、上記以外の個人情報は全て削除した電子データで提供されます。また、対応表の提供は行われません。共同研究施設では、物理的安全管理（データ管理 PC は第一研究室内の保管庫にて鍵をかけて保管、記録媒体の持ち出し禁止）、技術的安全管理（データ管理 PC へのアクセス制御、外部からの不正アクセス等の防止に対して不正ソフトウェア対策）、組織的安全管理（個人情報の取扱いの制限と権限を研究代表者及び研究分担者に限定する）、人的安全管理（定期的に教育を受ける）を行います。

5. 研究組織

大阪大学大学院歯学研究科 広瀬 雄二郎

東京女子医科大学 菊池 賢

国立成育医療研究センター 山田 全毅

地方独立行政法人りんくう総合医療センター診療支援局 検査・栄養部門長 花田 浩之

昭和大学 医学部 解剖学講座 川西 邦夫

国立国際医療研究センター研究所 感染症制御研究部 竹本 訓彦

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 蛸原 健

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 1-8 大阪大学大学院歯学研究科 微生物学講座

電話番号 06-6879-2897

講師 広瀬 雄二郎

研究責任者：

大阪大学大学院歯学研究科 微生物学講座 講師 広瀬 雄二郎